





## 1383 COP25(気候変動条約締約国会議)

スペインで気候危機の国際会議

が行われています。

2030年までに気温上昇を1.5℃に抑えないと異常気象が増えます。

南極大陸の氷は簡単に溶けないと考えられていました。でも3年前から、海面近くから急ピッチで溶け出しています。全部溶けると海面は55m上昇します。

三島小学校の位置で海拔12m。三島は海に沈みます。

冬になると海の上層の水温が下がり、上層の海水が海底に沈みます。気候危機で水温が下がらず海底に沈まなくなっています。上層の海水が沈むことで海底の海水が上がる循環があったのがなくなってきました。

上層の海水だけ酸素をふくんでいて、海底に酸素を届けます。海底の栄養が豊富な海水が上層に栄養を届けます。これがなくなる！

栄養不足の上層、酸素不足の海底。海の生物に大きな影響が出ます。

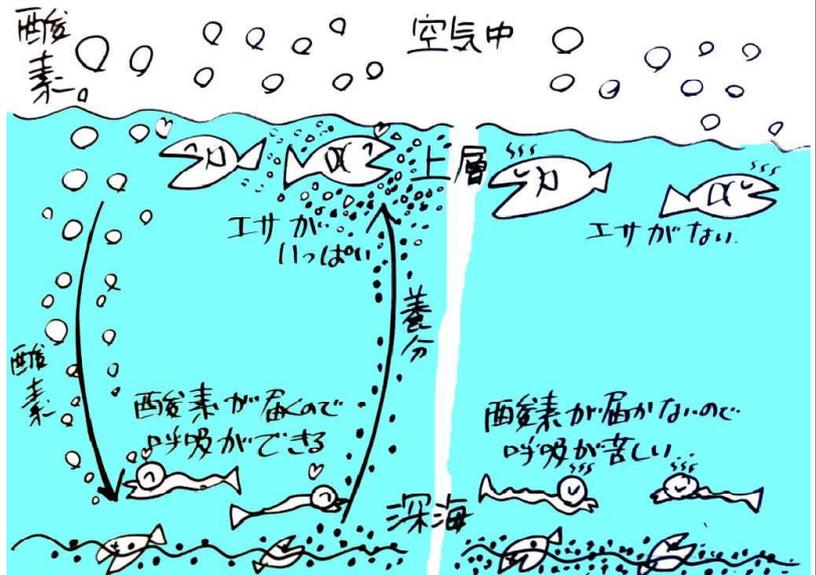
気温上昇を1.5℃以内に抑えないと大変！だから原因となる二酸化炭素を出すのを減らそう！各国は二酸化炭素を出す量を減らす目標を決めています。しかし、全部を合計しても、必要な減らす量にはまったく足りません。目標を5倍にしないと足りない状況です。

40年以上前から「大変なことになる！」と赤信号が出ているのに、対策が進みません。世界で気候危機に対する若者の抗議活動が起きています。気候危機の被害をもろに受ける若い世代は政策の意思決定に加わりません。意志決定をする世代は、対策ができていません。

「今年、異常気象で最も深刻な被害を受けたのは日本」とドイツの環境NGOが報告。にも関わらず、日本は二酸化炭素を最も出す石炭火力発電を増やそうとしています

温暖化前の冬の海

水温が下がらない海





## 1384 4年「金ぞくを熱したり冷やしたりすると」12/6

- 実験が楽しかったです。熱すると金ぞくが大きくなって、冷やすと小さくなって、マジックみたいでした。Aさん
- あたためると体積が「増えて」、冷やすと体積は「減る」って、なんだか生きているような感じがしました。Bさん
- ★ 「マジック」「生きているよう」と受けとめたのは面白い。その感覚がうらやましいです。感動したことは忘れません。よい学びになりましたね。
- 今日の実験は気をつけないと大やけどするけれど、ぼくの班は、みんな気をつけてすばやくできたので2回できました。Cさん
- ★ 火を使う実験には注意。自分が火傷しない、友達も火傷させない。



## 1385 「一番危険なことは」朝日新聞

スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥンベリさん（16）がCOP25で演説しました。「一番危険なのは行動しないことではない。危険なのは、政治家や企業家たちが、ほとんど何もしていないのに、ずるがしこい説明と想像力豊かなPRで、本当の行動をしていると見せかけることだ。」

- ★ NHKのニュースでも報道されました。  
2030年までに気温上昇を1.5℃に抑えないと災害がもっと増えます。原因の多くは増え続ける二酸化炭素。主に電気を作ることと自動車です。  
減らす量を5倍にしないと危機は止まりません。  
日本を含めた各国は言います。  
「〇〇%減らしました。」「〇〇%減らしました。」  
それは、今までの5倍なの？と確かめよう。



COP25は各国の意見がまとまらず2日延長。気候危機のために水没していく国は「減らさないで、国がなくなる!」、先進国（日本を含む）は「減らすと、金もうけができなくなって貧しくなる」、途上国は「先進国が今まで出してきたことが原因なのに。これから豊かになるには減らせない。」と、まとまりません。

結局、「できるかぎり、できるだけ早く減らす」で終わり。なんとあいまいな……。  
これでは、グレタさんに叱られます。  
気候危機はより深刻になります。被災の覚悟をして準備しましょうか？

